

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	重度障害者歯科診療所運営補助			事業番号	011-135
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②障害者の暮らしの場の確保		
			無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2
		寄与するKPI	有	取組	障害者児及びその家族に対する支援		
			無	指標名	—		
2	関連計画	第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画					
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠	堺市重度障害者歯科診療所管理運営補助金交付要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	一般社団法人堺市歯科医師会	対象数	1	単位	法人
7	事業の目的	重度障害者歯科診療所の安定的な運営を図り、重度障害者等に対して、安全で適切な歯科診療を提供することで健康維持を図る。				
8	事業内容	一般社団法人堺市歯科医師会が運営する堺市重度障害者歯科診療所の運営経費を補助することによって、一般の歯科診療所での治療が困難な障害者児（約2,700人 ※障害支援区分5・6を想定）が歯科疾患に関する相談、指導、診断、治療及び機能回復訓練を受けることができる環境を整える。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容					
9	主な支出先	一般社団法人堺市歯科医師会				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	一般の歯科診療所で治療を受けることが困難な障害者児が歯科診療を受けることができるようになる				
	当該目標を設定した理由	一般の歯科診療所で治療を受けることが困難な障害者児の健康維持を図るため。				
	目標に対する実績	一般の歯科診療所での治療が困難な障害者児が歯科診療を受けることができる環境を整えた。				
12	活動指標	単位	実績		目標	
	診療件数（年間）	件	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	—	—	—
			実績値	1,255	1,269	—
達成率	—	—	—			
	当該指標を選定した理由	年間診療件数をつかむことで、一般の歯科診療所では対応できない診療件数を把握できるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	歯科疾患の発生によるものであり、数値化した目標の設定にはなじまないため、目標値を設定していない。				

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	重度障害者歯科診療所運営補助	事業番号	011-135
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)			
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	88,686	102,418	84,948	84,948	90,234
13 財源内訳	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	5,600
	その他 ()	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0
一般財源	88,686	102,418	84,948	84,948	84,634
14 人件費 (b)	1,640	1,620	1,620	1,620	1,680
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	90,326	104,038	86,568	86,568	91,914

事業費の内訳		(単位：千円)									
項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源				
								R6	決算	R6	決算
16 事業費内訳	堺市重度障害者歯科診療所管理運営補助金	R6	決算	84,948	84,948			R6	決算		
		R7	予算	90,234	84,634			R7	予算		
		R6	決算					R6	決算		
		R7	予算					R7	予算		
		R6	決算					R6	決算		
		R7	予算					R7	予算		
		R6	決算					R6	決算		
		R7	予算					R7	予算		
		R6	決算					R6	決算		
		R7	予算					R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和5年度	令和6年度
17	①	診療件数 (年間)	件	1,255	1,269
	②	上記①にかかる年間経費	千円	104,038	86,568
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	82,899	68,218
算出についての説明等					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	令和5年7月の全身麻酔治療における医療事故により、再発防止策等の実施のため全身麻酔治療を休止していた影響もあり、令和5年度は診療報酬・診療件数が大きく減少した。令和6年6月から全身麻酔治療を再開したが、引き続き、医療事故防止のための研修の実施に伴う休診等により、診療報酬・診療件数は十分に回復しておらず、令和4年度以前と比較すると減少している。それでも、令和6年度は、支出の抑制等により補助額は減少したため、単位当たり経費は令和5年度と比較すると大きく改善しており、全身麻酔による治療を可能とするための医療機材の確保、医師等の体制確保、高い専門性等を考慮すると、過剰ではないと考える。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築する取組として、全身麻酔等を併用した歯科診療を行っている堺市重度障害者歯科診療所が一般の歯科診療所での治療が困難な障害者児に対して安全で適切な歯科診療を提供することができるよう、運営経費を補助することで、障害者児及びその家族に対する支援に寄与している。
----	--